

か|か|み|が|は|ら 市議会だより

2020年5月1日発行

No. **178**

3月 6月 9月 12月
令和2年3月定例会

議案概要

令和2年度 P.2
当初予算・主な事業

委員会審査

出産後の支援 P.4
母子へのケアなど

一般質問

市税等の納付 P.8
キャッシュレスへ

一般質問

認知症支援 P.9
正しい知識を普及

一般質問

坊の塚古墳 P.10
整備と活用を検討

一般質問

公園施設を整備 P.11
木の遊具や飲食店



今号の表紙
土に触れて命を学ぶ

各務原特別支援学校では、一人ひとりの個性を大切に、社会的、職業的自立を目的としたさまざまな作業学習の授業があります。

園芸班の生徒の皆さんは、土に触れ命を感じながら、花や野菜を育て園芸を学んでいます。

代表・一般質問

12人が
市政を問う P.7~



伊木の森の広場や設備を再整備
(関連記事は2ページ)

令和2年度の 主な事業を紹介

「地域力推進予算」として
一般会計で545億円を予算計上

新規事業を「誇り・やさしさ・活力」の3つに分類

現在、人口減少や少子高齢化、核家族化や価値観の多様化などによる地域社会の担い手減少や人間関係の希薄化などが懸念されています。それらを起因とする複雑な課題を解決するためには、行政だけでなく地域力が重要になるため、令和2年度は地域力が最大限発揮されるような「地域力推進予算」を編成しました。さらに令和2年度は、市の最上位計画の総合計画に基づく施策の方針などを示す、後期基本計画のスタート年度となります。後期基本計画では、全分野共通の方針として「つながりづくり」を掲げ、地域の顔が見える関係の持続や施策の横のつながり、連携の充実を目指します。

誇り

外国人のための

生活ハンドブック作成事業

外国人市民が快適な生活を送るための助けとなるよう、外国語と、簡易な表現の日本語を併記した「生活ハンドブック」を作成します。

まちづくり担い手

マッチング事業

地域課題の解決などを目的とした、まちづくり活動団体のつながりづくりのため、マッチング交流会を実施します。

団体同士がお互いに「できること」「助けてほしいこと」の情報を共有することで、多様な市

生活環境向上事業

適切にごみ出しを行えるよう、「ごみ出しガイドブック」の改訂のほか、食品ロス削減の理解・関心を深める啓発を行います。



まちづくり活動団体の交流会

民の連携によるまちづくりの促進を図ります。

議案概要

令和2年3月定例会を2月18日から、29日間開催しました。

令和2年度一般会計予算をはじめ、35案件を審議しました。

条例に関する主な議案は以下のとおりです。

▶新総合体育館整備基金条例の制定

総合体育館を新たに建設することに伴い、建設に必要な資金を積み立てるため、基金を設置するものです。

▶新総合体育館建設基本構想・基本計画策定委員会条例の制定

▶特別支援学校建設基本構想・基本計画策定委員会条例の制定

新総合体育館や特別支援学校の基本構想・基本計画の策定に伴い、場所や規模などの調査や審議を行うための委員会をそれぞれ設置するものです。

▶市議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例の一部改正

市議会議員と同様に、市長の選挙においても選挙公報を発行できるようにするものです。

▶伊木の森条例の制定

身近な自然と親しみ、里山の循環を取り戻すことをコンセプトに、伊木の森のリニューアルを行い、その管理などについて条例を定めるものです。

やさしさ

フレイル予防事業

フレイル（虚弱）予防に取り組むため、住民ボランティアを対象にフレイル予防サポーター養成研修を行います。

また、総合体育館と稲田園で市独自の指標を用いたフレイルチェック大会を実施し、該当者には保健指導などにより症状改善に向けた助言を行います。

産後ケア事業

出産後、家族などの支援を十分に得ることができない母子に対し、心身のケアや育児サポートを行い、安心して子育てができるよう支援します。

高齢運転者

交通安全対策補助事業

高齢運転者による交通事故を抑制するため、75歳以上の高齢運転者が「後付けのペダル踏み間違い時加速抑制装置」を設置した場合に上限1万円の補助を行います。



装置を設置し事故被害を軽減

活力

立地適正化計画策定事業

人口減少や少子高齢化が進展する中、持続可能なまちづくりを推進するため、人口や都市機能を緩やかに誘導する地区を設定し、コンパクトなまちづくりを図る計画を策定します。

チョイソコかかみがはら事業

日常のさまざまな移動ニーズに対応するため、利用者の需要に応じて時間と路線を柔軟に対応することができるよう乗り合いタクシーに、新たに民間技術を活用したシステムを導入します。令和2年度は、鶴沼南エリアで社会実験を行います。

那加住吉地区土地区画整理事業

市役所南西の交差点から国道21号までの区間において、両側に歩道を設置するため、道路を東側に拡幅する予定です。

また、その際に発生する残地を有効利用するため令和2年度は事業計画書などを作成します。



歩道設置のため拡幅が予定される市道

議会構成

◎委員長 ○副委員長

3月定例会より、議会における役職や委員会の構成が変わりました。



議長 池戸一成
副議長 坂澤博光
監査委員 瀬川利生

総務常任委員会

市全体の計画やPR、防災、消防など

◎黒田 昌弘 ○指宿 真弓
杉山 元則 瀬川 利生
水野 盛俊 川嶋 一生

民生常任委員会

税金やごみ処理、健康や福祉など

◎大竹 大輔 ○小島 博彦
古川 明美 永治 明子
岡部 秀夫 川瀬 勝秀

経済教育常任委員会

産業や農業、観光や教育など

◎五十川 玲子 ○塚原 甫
水野 岳男 岩田 紀正
吉岡 健 池戸 一成

建設水道常任委員会

道路や水道、公園の整備など

◎津田 忠孝 ○仙石 浅善
坂澤 博光 波多野こうめ
横山富士雄 足立 孝夫

議会運営委員会

◎川瀬 勝秀 ○仙石 浅善
黒田 昌弘 岩田 紀正
波多野こうめ 川嶋 一生
足立 孝夫

委員会審査

議案を分野別に4つの委員会に分け、詳しく審査を行いました。
各委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

総務常任委員会

令和2年度一般会計予算

空家等対策事業費を増額する理由は。

周辺環境に著しく悪影響を及ぼす「特定空家等」を所有者に代わり、行政が取り壊す費用を計上するとともに、除却費を支援する補助制度を創設するためである。

特定空家等の除却を支援する補助制度の内容は。

所有者が建物を除却する費用の3分の1（上限30万円）を補助する。

市ウェブサイトリニューアル事業による効果は。

セキュリティの強化やアクセスビリティの向上、災害時・緊急時の安定的かつ迅速な情報提供体制の構築のほか、

デザインや構成にも力を入れ、利用者の利便性を高めたい。

債務負担行為で予算化される新庁舎建設事業の内容は。

エネルギー消費量の削減を図る設備や地震の揺れを軽減するオイルダンパーの設置などに伴う工事のほか、事務機器の購入を行う。



地盤改良が終わり地下の工事が進む新庁舎

防災システム導入事業では、どのようなシステムを導入するのか。

災害時における救援要請や被害情報・支援情報などを、災害対策本部に設置された電子地図で表示することで、市内の被災状況を可視化できるシステムである。

土地開発基金条例の廃止

土地開発基金を廃止する理由は。

この基金は、公共用地の先行取得を目的として昭和45年に創設したが、近年の活用実績がないため廃止しようとするものである。

民生常任委員会

令和2年度一般会計予算

市税等モバイル納付導入事業で予定されている決済サービスと利用手数料は。

3つのサービスを予定しており「PayPay」「LINE Pay」「Payビー」で、利用手数料は1件当たり58円（税抜）となる。

産後ケア事業の内容と自己負担額は。

助産師が自宅に訪問する「訪問型」と、病院や助産院などに宿泊する「宿泊型」があり、母親や赤ちゃんの心身のケアや育児サポートなどを行う。

自己負担額は、訪問型で2250円、宿泊型で7500円の予定である。

ベトナム語版ごみ出しガイドブックの配付方法は。

2千冊作製し、ベトナム人を雇用している事業所や国際協会などを通じて配付する。

また、自治会などから希望があれば配付する。

令和2年度国民健康保険事業

特別会計予算

社会保障・税番号制度システム整備の事業効果は。

医療機関や薬局において、マイナンバーカードもしくは健康保険証を提示することで、保険診療を受けることができる患者かどうかをオンラインで即時に確認することが可能となる。

経済教育常任委員会

令和2年度一般会計予算

問 不登校対策事業における人員配置は。

答 現在、学校復帰を目的とした適応指導教室「あすなる教室」があるが、教育センター「すてっぷ」と、そらふれあいセンター「そらーら」でも、週に2〜3日程度、新たな居場所づくりや支援を行うため、職員を2人ずつ配置する。

問 特別支援学校建設基本構想・基本計画の策定の土台となる考え方は。

答 コンセプトは小学部・中学部・高等部を持つことである。

障がい種別は、知的障がいに加えて肢体不自由、軽度の病弱まで含む予定で、100人程度の学校規模を考えている。

場所は、なるべく市の中心部で、ある程度の広さを持ち、市内の小中学校と交流ができる場所を考えている。

問 新総合体育館建設基本構想・基本計画の策定の土台となる考え方は。

答 現在の総合体育館は駐車場が狭く、一部のスポーツ種目に対応できない設備などもあるため、それらを補うような整備を行いたい。

併せて、防災機能を持たせるとともに、交通の便が良い場所にしたと考えている。

問 川島スポーツ公園リニューアル整備の主な内容は。

答 公園の駐車場および広場の整備、多目的グラウンドの改修、屋外トイレの撤去・新設などである。



整備中の川島スポーツ公園テニスコート

問

答 外国人のための窓口通訳事業の内容は。通訳などを行う国際交流員が不在であっても、市

の各窓口で外国人市民の対応ができるよう、11言語に対応した電話通訳システムを導入する。

問 インターンシップ費用助成事業で補助要件を拡大する理由とその内容は。

答 東京や大阪、北陸などから市内企業に来る、インターンシップの学生にも不足額が出ないよう、これまでの一律5千円の補助を、距離によって最大2万円までとした。
また、最大の宿泊日数も4泊を5泊に拡大した。

建設水道常任委員会

令和2年度一般会計予算

問 各務山を南北に横断する市道各378号線道路改良事業の内容は。

答 補償を含めて道路用地を6件取得する予定である。

その他、各務山開発の造成工事に必要となる進入路を確保するため、スポーツ広場南通りから北へ270m区間の道路整備工事を行う。

問 桐野公園貯留施設整備事業の目的は。

答 桐野公園の敷地に雨水を貯留できるようにすることで、那加桐野地区の浸水被害を軽減する。

そのため、公園の敷地を掘り下げる予定である。

問 急傾斜地崩壊対策事業の内容は。

答 災害時の活動拠点や避難関連施設が、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定されている、尾崎地区や手力地区において斜面の崩壊を防止する構造物を構築するものである。

令和2年度は、尾崎地区の斜面崩壊を防止する構造物の測量設計を行う。



斜面の崩壊を防ぐ構造物のイメージ

審議の結果

令和 2 年 3 月定例会

議案等の審議の結果は以下のとおりです。

賛成全員…◎ 賛成多数…○

議案等の種類	案 件 名	審議の結果	採決の状況
新年度予算	令和 2 年度一般会計予算	可決	○
	令和 2 年度国民健康保険事業特別会計予算	可決	○
	令和 2 年度介護保険事業特別会計予算	可決	◎
	令和 2 年度後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○
	令和 2 年度水道事業会計予算	可決	◎
	令和 2 年度下水道事業会計予算	可決	○
補正算	令和元年度一般会計補正予算（第 5 号）	可決	○
	令和元年度一般会計補正予算（第 6 号）	可決	○
	令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決	○
	令和元年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決	◎
	令和元年度下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	可決	◎
条 例	職員定数条例の一部を改正する条例	可決	◎
	非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○
	新総合体育館整備基金条例	可決	○
	土地開発基金条例を廃止する条例	可決	○
	公共施設等整備基金条例を廃止する条例	可決	○
	手数料条例の一部を改正する条例（消防本部所管分）	可決	◎
	市議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例	可決	◎
	印鑑条例の一部を改正する条例	可決	◎
	国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	◎
	伊木の森条例	可決	◎
	特別支援学校建設基本構想・基本計画策定委員会条例	可決	◎
	新総合体育館建設基本構想・基本計画策定委員会条例	可決	○
	立地適正化計画策定委員会条例	可決	○
	市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	◎
	公営住宅等の整備に関する基準を定める条例	可決	◎
	市営住宅条例の一部を改正する条例	可決	○
	手数料条例の一部を改正する条例（都市建設部所管分）	可決	◎
人 事	人権擁護委員候補者の推薦（横山正弘氏）	同意	◎
	監査委員の選任（瀬川利生氏）	同意	◎
その他	市道路線の認定（市道那 1137 号線ほか 4 路線）	可決	◎
	市道路線の廃止及び認定（市道那 378 号線）	可決	◎
	市道路線の廃止及び認定（市道那 429 号線ほか 3 路線）	可決	◎
	市道路線の廃止（市道稲 517 号線）	可決	◎
議員提案	常任委員会の閉会中の継続調査	可決	◎

代|表|質|問

代表質問とは、所属議員3人以上の会派がそれぞれの政策・主張に基づき市政に関して質問するものです。3月定例会では、政和クラブの川嶋一生議員と市議会公明党の黒田昌弘議員が、会派を代表して質問を行いました。その一部を紹介します。

地域力推進予算への思い

政和クラブ

問 「地域力推進予算」と銘打ち、編成にあたった市長の考え、思いは。

答 人口減少、少子高齢化の進展に伴い、本市でも、各組織・団体の構成員の高齢化や担い手不足が問題となっている。

また、SNSなどの普及により、年齢や性別、地域などにとらわれない関係が広がる一方で、顔の見える、地域の中での関係は希薄化が進んでいる。

今後、これらの問題が大きくなるに従い、各分野の枠の中でそれぞれの施策を実施していくのみでは複合的な課題や、分野のはざまに生じる問題に対応できず、地域で限られた人材である担い手の負担増につながりかねない。

このようなことを踏まえ、特にこの5年間は「自治会」「子ども」「高齢者」「雇用」「行財政」に関わる各施策に重点を置き「つながりづくり」という方針のもと、施策を展開していく。

その具現化に向けた課題の解決には、地域との連携や地域の方々の主体的な活動、すなわち「地域の力」が重要と考え、予算編成にあたった。

問 教育委員会事務局に「教育施設整備推進室」を新設するねらいは。

答 「市立特別支援学校」と「新総合体育館」の建設に向け、実務をスタートさせるためである。

これら2大プロジェクトの完結には、長い期間と多くの労力が必要となるが、基本構想や基本計画の策定から、設計、工事に至るまで、職務を円滑かつ専属的に行っていくことを目的としている。

人と地域のつながり

市議会公明党

問 「つながり」を重視した新年度予算への思いは。

答 地域コミュニティの希薄化によって団体活動の停滞、高齢者への負担増、地域の中での孤立などといった地域の課題が見えてきた。

それらの課題解決のためには、地域の中で顔の見える関係を作り、人や団体などがつながっていくことがますます必要になっていくと痛感している。

そのため、各施策の枠を超えた横断的な取り組みが不可欠であり、市民、自治会、各種団体、NPO、企業などとの対話を基礎とし「オール各務原」でまちづくりを進めていきたい。

令和2年度予算においては、そのさまざまな「つながり」を創っていくための施策を具現化していく予算を計上した。

問 東海中央病院に対して市が行う支援内容は。

答 市は東海中央病院に、地域における基幹的な公的医療機関として、救急の受け入れや人工透析の充実、地域との病診連携などの要望を行ってきた経緯がある。

当該病院への支援の在り方について協議を重ねた結果、今後は救急医療体制の維持を目的とした支援を行うこととした。

その内容は、救急医療のための病床補償費のほか、救急に携わる医師や看護師の手当、委託事務経費など、計1億円を5年間負担することである。

また、MRIなどの高度医療機器の購入にあたり、資金を借り入れた場合には返済額の2分の1を補助する。

一般質問

3月定例会で一般質問をした議員（質問順）

波多野こうめ／五十川玲子／塚原甫／岩田紀正／指宿真弓／
水野岳男／杉山元則／永治明子／横山富士雄／古川明美

市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針などを、各議員が市に
対して質問しました。その一部を紹介します。

キャッシュレス社会の実現に向けて

市税などの「モバイル納付」を導入

問

市としてキャッシュレス（現金を使わない支払い方法）の取り組みの方向性は。

答

市民向け出前講座や商工業者向けの説明会などで、キャッシュレス決済の普及啓発に取り組んでいる。

市税などについては、既に実施しているクレジットカードでの納付に加え、令和2年度からはスマートフォンなどを利用して納付できるモバイル納付の導入を予定している。

市におけるキャッシュレスの取り組みは、多くの利点があり、今後も推進していく。

問

水道料金や施設使用料などの支払いでも、キャッシュレスを検討してはどうか。

答

導入にはさまざまな検討課題があるため、引き続き国の動向や他自治体の事例を調査研究し、できるところから取り組んでいく。



スマホを使ってキャッシュレスで支払い

災害時の情報

問

災害時に、市ウェブサイトへのアクセスが集中し、表示されなくなった場合の対策は。

答

災害時は、市ウェブサイトへの保守事業者が、ネットワーク回線で送受信できるデータ量を一時的に増やして対応をすることになっている。

また、昨年に締結したヤフー（株）との協定により、災害時には市ウェブサイトを複製したサイトを掲載することで、閲覧の分散を図ることになっている。

問

令和2年度に見直されるハザードマップに示された浸水想定区域をどのように周知するのか。

答

従来より行っている出前講座や広報紙での周知などに加え、令和3年度の地域防災訓練でも啓発していく。

浸水想定区域の自治会には、

入札制度の見直し

問

物品購入など全ての入札結果を市ウェブサイトで公表してはどうか。

答

現在公表しているのは、工事やその工事に関する委託のみだが、令和2年度からは全ての結果を公表できるように既に準備を進めている。

問

一般競争入札や総合評価落札方式を拡大する考えは。

答

令和2年度より、入札に参加する業者を限定しない一般競争入札の対象金額を、一部の工事種別で引き下げるほか、価格とそれ以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式の実施件数を増やしていく予定である。



内藤記念くすり博物館での認知症カフェ

認知症の方に対する支援 訪問支援や相談、認知症サポーターの養成など

問 本市における認知症の方の現状は。

答 2月現在で、5230人が認知症の診断を受けているが、医療機関未受診の方を含めると、人数はさらに多くなると推測される。

問 認知症の方への支援の状況とその効果は。

答 看護師などの専門職による、認知症初期集中支援チームの訪問支援や、地域包括支援センターに認知症地域支援

推進員の配置を行っており、認知症に関する相談を受け付けている。

また、近隣住民の理解や見守りなどの環境づくりも重要であることから、認知症サポーター養成講座や認知症の方とその家族、地域住民などが交流できる認知症カフェを開催している。

実績として、これまでに約2万5千人が認知症サポーターとなっており、認知症カフェには平成30年度は、延べ約2900人が参加した。

これらの取り組みを通じて、認知症に対する正しい理解と認知症の方やその家族の居場所が広がりつつあると考えている。

問 65歳未満で発症した若年性認知症の方の意見を反映する環境はあるのか。

答 現在、策定を進めている「第8期高齢者総合プラン」の委員として若年性認知症の方にも参加いただき、当事者の意見が反映できるよう施策の見直しや検討を行っている。

国民健康保険の 短期被保険者証

問 短期被保険者証（有効期間が通常より短い被保険者証）を発行する条件は。

答 国民健康保険料を1年以上滞納している世帯が対象である。

問 短期被保険者証をどのように運用しているか。

答 窓口で自己負担額が10割となる「資格証明書」を機械的に交付せず、短期被保険者証を活用することで滞納者と接触し、納付相談をする機会の確保に努めている。

中高年の ひきこもり支援

問 ひきこもり支援の強化を図るため、必要な人に必要なサービスと情報を提供できる体制を整備する考えは。

答 福祉事務所などで相談支援を行っているが、窓口をより明確化し、誰でも相談しやすい環境を整えていく。

また、自治会や民生委員・児童委員などと連携し、地域の実

情把握に努めるほか、状況に応じて家庭訪問を行うなど、支援が必要な方の早期発見と早期支援を促進していく。

問 8050問題^{はちまるごいまる}などの世帯ニーズに柔軟に対応した支援体制を整備する考えは。

答 福祉事務所や社会福祉協議会では、生活上の困りごとや悩みを抱える全ての方を対象に、就労支援や日常生活支援、家計支援など包括的な相談支援を行っている。

今後も、ひきこもりとなった背景や事情を踏まえ、関係機関や地域と連携して丁寧な相談支援を行っていく。



坊の塚古墳の今後の活用方針

国の文化財指定も視野に整備財源を検討

問 県の指定史跡である、坊の塚古墳の発掘調査で分かったことは。

答 古墳の長さが120mあり、県内で2番目の規模であることが分かった。

また、古墳の構造が3段であることから、埋葬された人が上位の階級であったと判断できるなど、発掘によって未知の部分が明らかになり、当時の地域の様子をうかがい知ることができた。



発掘調査が行われた坊の塚古墳

問 今後の古墳の在り方と活用にに向けた展望は。

答 令和2年度から整備と活用に向けた検討を行い、古墳の保存・活用・管理のバランスを考慮しつつ、古墳本来の姿を分かりやすく学べるよう計画する。

なお、整備の財源確保のために、現在の県の文化財指定を国の指定に格上げすることで、国の補助金を活用することも視野に検討する。

問 文化財の保護・継承を目指した、ふるさと教育との連携の考えは。

答 坊の塚古墳は、古代の各務原全域が自然的・地理的環境に恵まれていたことを示す実物大の歴史教材であり、それを活用して地域への誇りや愛着を醸成することが重要である。そのために、児童生徒が古墳を学ぶ機会の提供や市民対象の各種講座の開催などで、郷土の歴史と素晴らしさを学ぶ、ふるさと教育の充実を図る。

市政情報の発信

問 広報紙などのほかに電子媒体による情報発信をどのように行っているのか。

答 市ウェブサイトや情報メールによる発信のほか、近年ではツイッターやラインなどのSNSでの情報発信にも力を入れている。

ツイッターでは定期的に子育て応援サイトやイベントの情報などを発信し、ラインでは毎月1日と15日に広報紙発行を知らせるほか、毎週金曜日にイベント・講座の情報を発信している。

女性の就労継続支援

問 県で認定されるワーク・ライフ・バランスの推進に取り組むエクセレント企業を市内で増やす考えは。

答 エクセレント企業は、仕事と家庭の両立支援や女性の活躍の取り組みが特に優れている企業・団体を県が認定するもので、市内では9事業所が認定を受けている。



女性応援セミナーを開催

市では、これまでセミナーや企業訪問の際に、制度のPRを行っており、今後も取り組みを行う企業や団体が増加するよう啓発を行う。

問 女性の再就職支援やキャリアアップに関する支援の成果と今後の展望は。

答 職場復帰や再就職への不安・悩みの解消などを目的に行った女性応援セミナーには、延べ90人が参加し、キャリアアコンサルタントによる個別相談会では11人の相談があった。

令和2年度は、子育て中の母親や再就職を希望する女性を対象に、企業見学会などを行う。

民間活力を取り入れた公園施設を整備
市民公園から学びの森一帯の賑わいを創出

問 那加福祉センター・勤労会館臨時駐車場跡地に計画されている、民間活力を取り入れた公園施設の概要は。

答 核となる公園施設は県産材を使い、雨の日も利用できる屋内施設として、子育て世代に向けた「木とふれあい、学べる遊び施設」となる。

この施設に併設して飲食店の出店も予定されており、施設を囲むデッキや、子どもからお年寄りまで安心して利用できるトイレの整備なども計画されている。

また、施設内だけでなく周辺の公園でも楽しめるグッズなどを貸し出す仕組みも提案されており、周辺エリアへの賑わいの波及効果が期待される。

問 公園施設の年間利用者数と駐車場利用台数の想定、近隣駐車場への影響は。

答 新たな公園施設の年間利用者数は約9万人、1日当たりの駐車場利用台数は平日約50台で、休日約150台を想定している。

周辺エリアにおける駐車場の混雑については、行事の重なり具合にもよるが、おおむね影響はないと考えている。

問 公園施設周辺地域の安全対策は。

答 歩行者の安全対策として、敷地に面した歩道の舗装補修や段差の解消を行い、敷地北側の道路には車両の速度を抑制するため、路面にハンプ（段差）を設置する。



民間活力を取り入れた公園施設のイメージ

治水対策

問 台風や大雨などにより発生する水害や土砂災害を防ぐための総合的な治水対策の内容は。

答 豪雨による浸水被害の軽減のため、公共下水道の雨水計画を策定し、雨水を川に流すための雨水幹線の整備を積極的に進める。

また、排水路の流れやすさを確保するため、随時、土砂を取り除いている。

その他に、小中学校の校庭を利用した雨水貯留施設（雨水を貯め、川などに流れ出る雨水の量を調節する施設）を整備する。

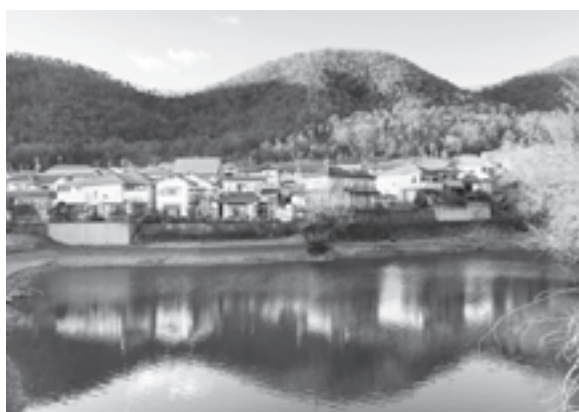
さらに、浸水対策の斬新な試みとして、全国に先駆けて農業用ため池の一部を改修し、水位を制御することにより、被害の軽減を進めていく。

問 令和2年度以降の雨水貯留施設整備計画の考えは。

答 県が策定している「境川流域整備計画」に基づく流域に位置している地区や、実際に浸水被害が発生している地区を対象に、家屋の密集度など

を考慮しながら、雨水貯留施設を整備する小中学校の優先度を決定している。

今後は、より効果的に対策を行うことができる公園などの公共施設も検討に加え、さらなる浸水対策に取り組んでいく。



農業用ため池（いちご 苺池・松が丘）

問 令和2年度の雨水幹線や雨水貯留施設の整備事業の内容は。

答 雨水幹線の整備では、那加第三小学校南の浸水被害を軽減するため、新たに那加東亜地区の排水路を整備する。

雨水貯留施設については、那加第一小学校と桐野公園に整備する。

市民の声

こんな街が いいな！



地球に 優しい街

今尾幸子さん（鵜沼三ツ池町）

昨年末に、環境活動家の方のお話を聞き「私たちの家（地球）は火事です」という言葉に衝撃を受けました。

地球温暖化の原因の一つはCO2とされていますが、私たちの生活の見直しでできることがあると知り、大きな希望を持ちました。

例えば電気使用量の削減、マイバッグ・マイボトルの使用などがあります。

そしてこの事実を一人でも多くの方が知り、変わることが重要です。

各務原市が地球に優しい暮らしを推奨し、100年後も自然豊かな大地と空気、水が当たり前にある街であってほしいと願います。



心豊かな 音楽の街

森 朱門さん（那加市下町）

市民公園や学びの森で開催されているさまざまなイベントや、河川環境楽園で毎年行われる夏フェス「OUR FAVORITE THINGS」など、今後の市の発展を担う若者への高い訴求力を持つイベントを行う各務原市の姿勢は、市民として非常に誇らしいものがあります。

今後はより敷居の低い、初心者が気軽に参加できるような音楽イベントが生まれ、各務原市が「心豊かな音楽の街」になったらいいと思います。

細々と音楽活動をしている身として、そんなことを願う次第です。



緑と音楽で イキイキできる街

内山健司さん（つつじが丘）

私は、普段「ものづくりの街 各務原」で航空機に携わる仕事をしており、そんな私には、イキイキできる趣味が2つあります。

1つ目は、音楽活動です。

芝生のきれいな市民公園やコイが泳ぐおがせ池、木曽川や犬山城を眺めながらトランペットの演奏を楽しんでいます。

2つ目は、パークレンジャー「上池クラブ」での奉仕活動です。

つつじが丘の上池周辺の美化活動を行っており、知識、経験豊富な先輩方と毎回楽しく参加しています。

これからも「緑と音楽でイキイキできる街づくり」に貢献していきたいです。

市議会だより編集委員会より



今号より、新たなメンバーで編集を行っています。
今後ともかかみがはら市議会だよりをよろしくお願いいたします。

｜委員長｜水野岳男 ｜副委員長｜指宿真弓
｜委員｜古川明美 塚原甫 小島博彦 大竹大輔

議会傍聴のご案内

6月定例会の予定

6月 5日(金)	開会
6月 17日(水)～18日(木)	質疑、一般質問
6月 23日(火)～24日(水)	常任委員会
6月 29日(月)	閉会

新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、会議の傍聴を制限する場合がございます。

傍聴を希望される方は、事前に議会事務局にお問い合わせいただくか、市議会ウェブサイトをご確認ください。

市議会の詳しい情報は各務原市公式ウェブサイトからご覧ください。

各務原市議会

検索



かかみがはら
市議会だより

｜発行｜各務原市議会 岐阜県各務原市那加桜町 1-69
｜電話｜058-383-2001 ｜編集｜市議会だより編集委員会

環境保護のため、
植物インキを
使用しています。

